

公民館活動における 協働の仕組みと活動

～子どもを育てる公民館と学校の協働～

大分市川添校区公民館

赤峯 友子

川添公民館と学校との協働の取組

①ふれあい学びの広場推進事業

②学校支援の事業

③子ども達の地域ボランティア
(公民館お助けDAY)

川添校区について

大分市東部に位置 清流大野川に沿い

南北約8kmの細長い地域

東南に九六位山系の山々

歴史と文化の薫る地域



川添校区の構成

3つの住宅団地を含む15自治会
2000世帯、6500人が住む

小学生は、

平成4年度830人 現在は154人
少子高齢化、過疎化が急激に進行

川添公民館の役割について

①社会教育の拠点

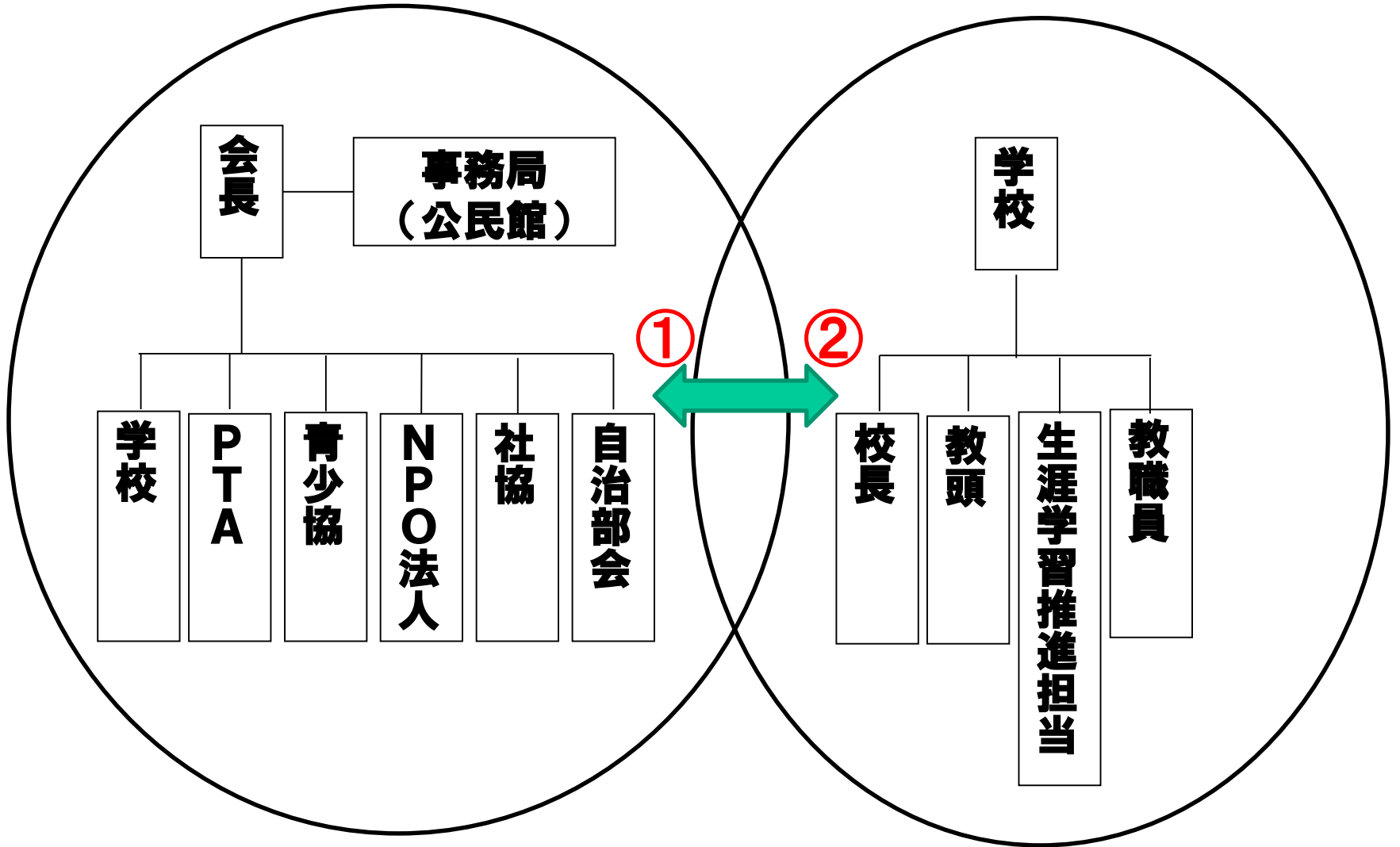
地域住民への情報提供

生涯学習の場の提供

②子どもの健全育成のための事業や 学校支援の事業

③地域コミュニティーの拠点

協働の仕組み



① 「ふれあい学びの広場」 推進事業

- ・目的 地域の自然と人材を活用し
児童の体験活動を行い
世代間交流を図るとともに
地域における教育力の向上を図る
- ・スローガン
「地域の子供は地域で育てよう」
- ・実行委員会を組織
小学校、PTA、自治部会、スポーツ少年団
ボランティア団体、大学生

九六位山野外体験活動

- キャンプ場での野外体験
飯盒炊さん、カレーづくり、
~~竹の器作り~~、火おこし体験、~~そうめん流し~~
竹細工で遊ぼう

大分大学の学生ボランティアが指導
APU留学生も参加し、異文化交流

大野川ハゼ釣り大会

- ・自治会で
手作り竿準備、竿修理、釣り指導
- ・校区の消防団、派出所おまわりさん、
国土交通省、大野川漁協の皆さんに
協力をいただいている
- ・河川愛護の標語コンクール
(国土交通省協賛)

大野川たこづくり、たこあげ大会



大野川の土手でたこあげ



夏休み子ども教室

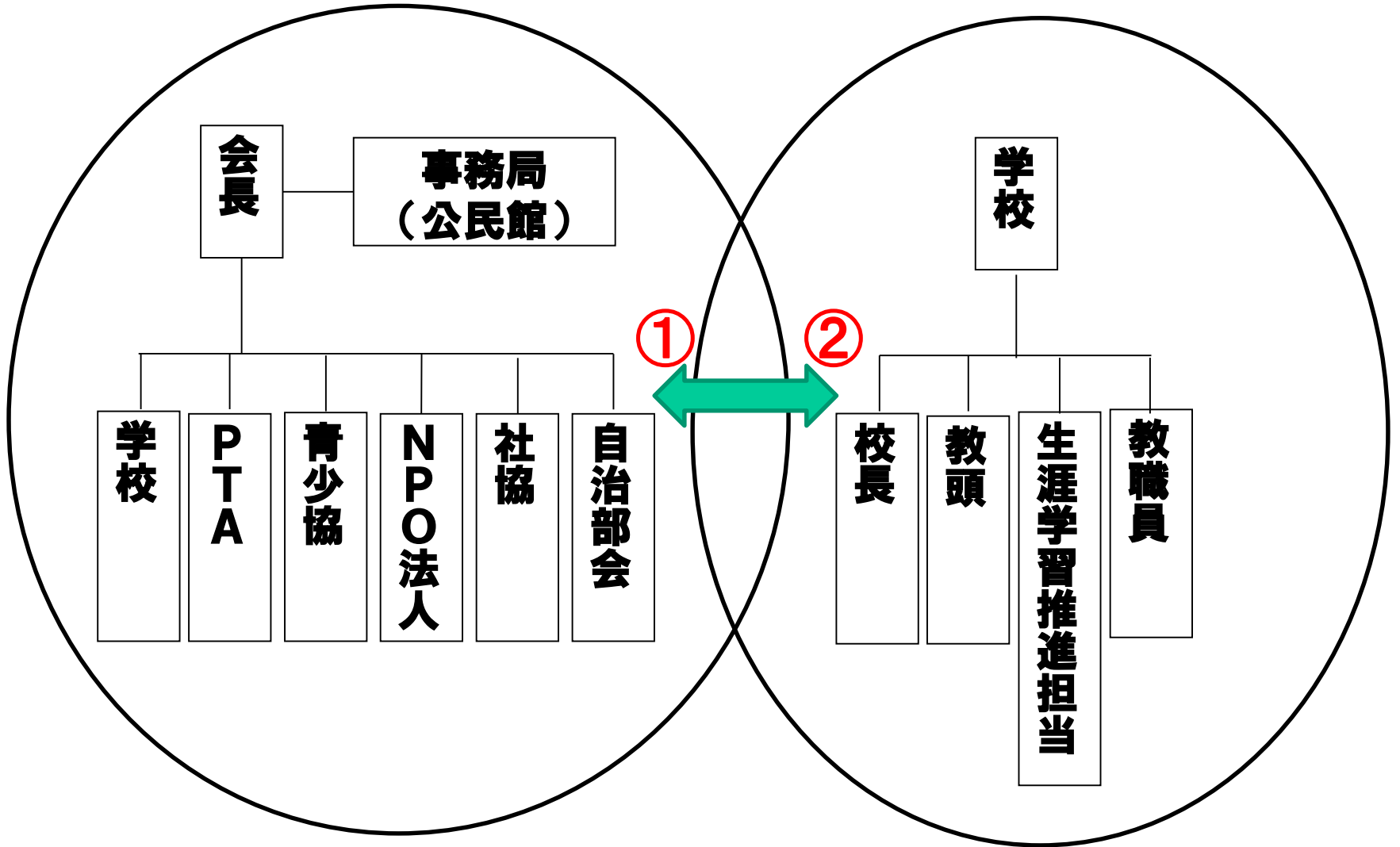
クッキング教室



木工教室



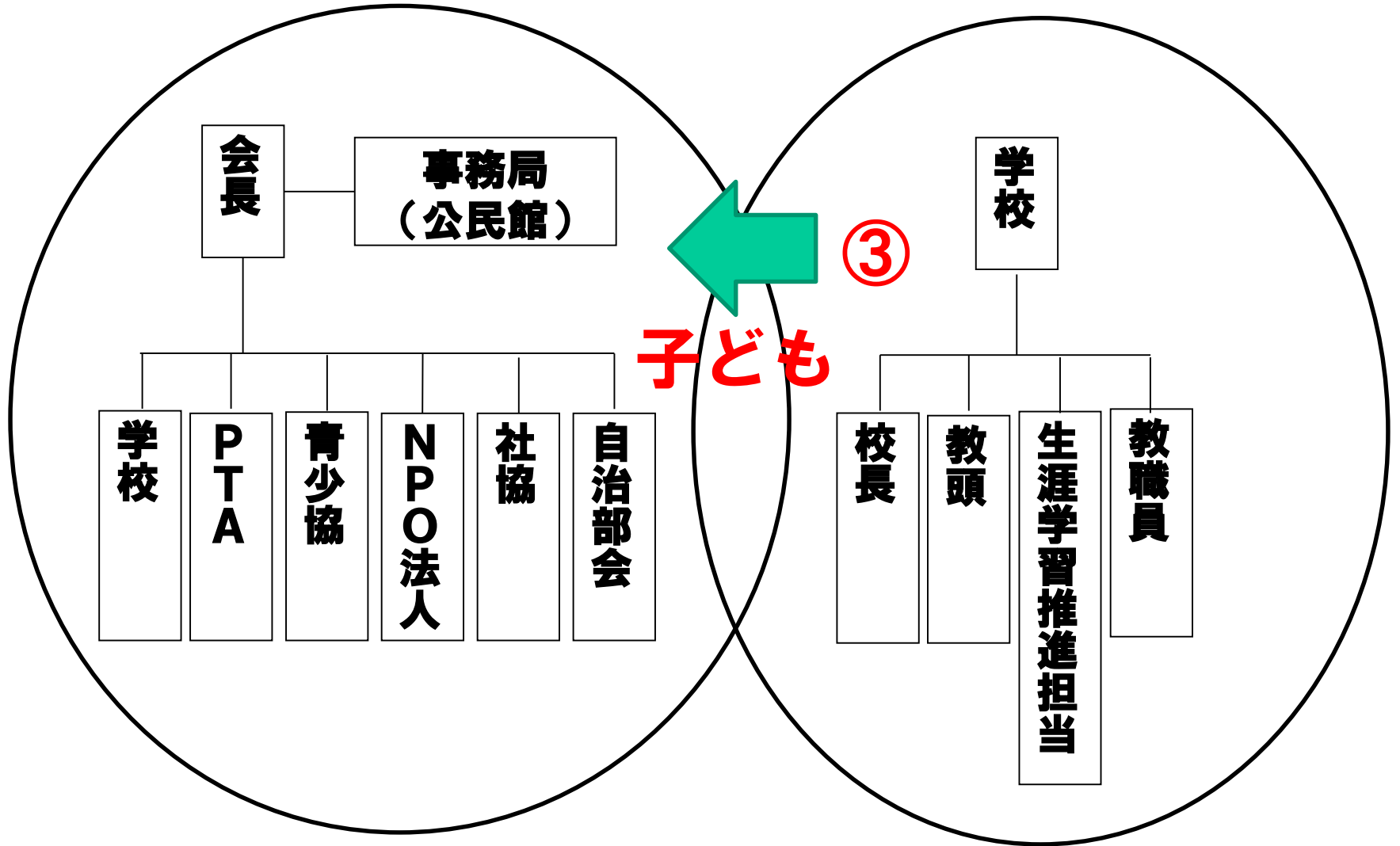
協働の仕組み



② 学校支援の事業

- 1年 イモの苗植え(6月)、収穫祭(11月)
- 2年 トマトの苗植え(5月)、収穫(7月)
- 3年 たこづくり(2月)、やせうまづくり
- 4年 椎茸のコマ打ち体験(3月)
- 5年 総合的な学習の時間に出張授業(5月)
- 6年 しいたけの収穫(春、秋)、郷土史の学習

協働の仕組み



③ 公民館お助けDAY ～子ども達の居場所づくり～

- ・「総合的な学習の時間」に参加したことをきっかけに、子どもたちが**地域ボランティア**を開始



合図ののぼり



育った子どもの姿や地域住民

- ・自然や昔の文化にふれ、
子ども達に郷土を愛する心が育った
- ・人の役に立つことを実感でき、
子ども達に奉仕の心が育った
- ・お助けDAYの活動が子どもの居場所づくりに
つながっている
- ・参加者同士の交流・絆ができた
- ・子ども達と地域住民に
多くのふれあいの場を提供できた
- ・活動が地域住民の生きがいづくりに
つながっている

事業継続の理由

- ・組織の確立
- ・ネットワーク
- ・地域ぐるみ
- ・先生方の支援
- ・スポーツ少年団の参加
- ・育成クラブの参加
- ・地域住民の生きがいづくり、仲間づくり
- ・参加から参画へ

今後の課題

- ◎野外での事業実施は危険が伴うので、
参加者の安全確保
- ◎家庭の理解と協力
- ◎事業に参加できない子ども達への配慮
- ◎若い人たちの地域行事への参加
- ◎ 新たな地域の担い手としての
リーダーの育成

**公民館が地域の住民と
学校、家庭、子ども達を
つなぐ架け橋に！**





活力ある地域づくりと
豊かな人づくり、
子どもの健全育成を目指します

川添校区公民館
赤峯 友子